



背景・目的

- 脱炭素社会への移行に向けて必要な投資額は極めて巨額であり、すべてを公的資金でまかなうことは現実的ではなく、グリーンファイナンスを活性化させ、ESG金融へシフトしていく必要。我が国で圧倒的ウェイトを占める間接金融におけるESG融資の普及とともに、直接金融において先行しているESG投資の更なる加速化が不可欠。
- これを踏まえ、欧米を中心に急速に進展するグリーンファイナンスの諸外国動向調査、国内の脱炭素化事業に対する投融資の状況調査等を実施し、脱炭素社会に向けた我が国におけるESG投資・ESG融資の普及のための取組を支援する。

事業スキーム

委託対象：民間団体等 実施期間：平成31年度～35年度

事業概要

- (1) 国際的なグリーンファイナンス関連情報収集分析事業
 - ① グリーンファイナンスの国際政策動向等の収集・分析・基盤整備事業
 - ② グリーンファイナンスに係るグリーンイノベーション動向調査等事業
- (2) 国内におけるESG金融導入調査検討事業
- (3) ESG金融実装推進事業
 - ① ESG投資環境促進事業
 - ② ESG地域金融促進事業
 - ③ ESG金融表彰制度・ESG金融ハイレベル・パネル運営業務

期待される効果

- グリーンファイナンスの活性化によるグリーンプロジェクトに対する民間資金の導入拡大。
- 国内や途上国における公的資金中心の支援から民間ファイナンスによるビジネス主導への転換により、地球規模の気候変動対策推進に貢献。

事業目的・概要等

(1) 国際的なグリーンファイナンス関連情報収集分析事業

- ① グリーンファイナンスの国際的な政策動向、ESG評価手法やエンゲージメント手法等の機関投資家の取組状況等について情報収集・分析・整理、情報基盤を整備。
- ② グリーンファイナンスの重点投下対象となり得るイノベーションとそのファイナンスの状況等の動向調査、2019G20サミット及び環境・エネルギー大臣会合を受けたイノベーションとファイナンスに係る国内政策展開・各国連携策の検討。

(2) 国内におけるESG金融導入調査検討事業

- ① 地域の中核となるグリーンプロジェクト等に対するグリーンファイナンス手法実施状況の調査検討
国内の有望なグリーンプロジェクト等のマクロ市場調査、グリーンプロジェクト等に対するプロジェクトファイナンスやソーシャルファイナンス等の国内外の実施状況を調査し、グリーンファイナンス手法導入に関する課題分析、解決策等の検討。

イメージ

(3) ESG金融実装推進事業

- ① ESG投資環境促進事業（直接金融関係）
脱炭素化に向けたESG投資における国際的な評価・投資手法等を、我が国の市場関係者に発信し、グリーンファイナンスの取組を拡大。グリーンボンドガイドラインの改訂検討等、諸外国の政策動向を踏まえた環境整備。
- ② ESG地域金融促進事業（間接金融関係）（脱炭素化事業部分）
 - i 国内の有望なグリーンプロジェクト等の地域の市場調査、グリーンプロジェクト等の将来性・利益性の掘り起こしを実施
 - ii 地域金融機関に対し、地域の特性に応じたグリーンプロジェクト等に対するESG要素を考慮した事業性評価融資審査モデル等の策定一部支援
 - iii 市場調査結果・融資モデルの横展開
- ③ ESG金融表彰制度・ESG金融ハイレベル・パネル運営業務